

分 か る と 快 感 !

Z会ナビ

算数

理科

▶歴史

地理

お 題

鎌倉時代の武士の戦い方とは？

(東京大学 1993年 日本人)

13世紀に行われたモンゴルと日本の戦争に
関して、この戦いで日本軍の戦い方は、モ
ンゴル軍の戦い方と比べて、どのような特徴
がありましたか。当時の日本の武士のあり方
と関連させながら、次の4つの語句を必ず使
って、説明しなさい。

恩賞 武士団 集団戦 一騎討ち

この戦争があったのは鎌倉時代のこと。中国
を征服して元を建国したモンゴルの皇帝フビ
ライは、日本をも支配下に入れようと、海を越
えて二度日本を攻めました。歴史が好きな人
なら、「元寇」「蒙古襲来」などの言葉を聞いた
ことがあるかもしれません。九州北部には、その
時に築かれた防塁の跡が今も残されています。

集団戦か、一騎討ちか

今回の問題では、日本軍とモンゴル軍の戦い
方の特徴を述べる必要があります。問題にある
語句を見ると、そのうち「集団戦」「一騎討ち」
は戦いに関するものだとわかります。ただ
し、片や大人数で戦う方法、片や1対1で戦う
方法と、まったく別のもので、どちらか
が日本、どちらかがモンゴルの戦い方とい
うことになります。どちらがどちらか、わか
りますか？

答えは、集団戦がモンゴル、一騎討ちが日本
です。「平家物語」など当時の日本の戦を描
いた文学でも、「やあやあ、我こそは……」と武
士が名乗り合っている様子が書かれています。



イラスト・瑞木 匠

武士の一分

まずは自分の名前を名乗り、一人を大人数でや
っつけるような卑怯なまねはせず、1対1で正
々堂々と戦うことが武士の美德とされていたの
です。

名乗って戦うのは名誉のため？

しかし、いくら「美德」とはいえ、命を懸け
た戦を、いちいち名乗って始めるのは不自然で
はないでしょうか？ なぜそのような戦い方が
当時の日本では行われていたのか、その秘密を

解く鍵が、残りの語句に隠されているのです。

平安時代の後半ごろから、戦を職業とする武
士が現れ始めました。彼らは惣領と呼ばれるリ
ーダーの下、「武士団」として組織されていま
した。彼らの給料は、戦でどれだけ活躍でき
たかで決まります。敵方のリーダーを討ち取る
など、輝かしい武功を挙げた武士はそれに対する
ほうびとして、「恩賞」と呼ばれる特別な給料
が与えられました。

恩賞をもらうには、自分の武功を武士団のリ
ーダーにアピールする必要がありますが、戦の
場でいちいちその証拠を集めておくことは困難
です。そのため、戦う前に自分の名前を名乗り、
まわりで一緒に戦っている味方の武士たちに証
人になってもらう必要があったのです。

さて、戦い方がまったく違うモンゴルと日本
の戦争、どうなったと思いますか？ 一騎討ち
で戦おうとする日本の武士たちは、集団戦を得
意とするモンゴルに苦戦を強いられますが、モ
ンゴル軍は船での戦いに慣れておらず、また嵐
にも襲われたことなどから、やがて撤退してい
ったのです。 【Z会・河原井彰】

！今回の教訓

武士にとって、名譽も大切ですが、お給料
も同じくらい大切でした。



河原井彰さん 2007年にZ会入
社。大学受験用の日本史、政治・
経済の教材編集を担当。趣味は乗
り物に乗ること。将来は猫と2人
暮らし(希望)。新潟県生まれの埼玉県育ち。